

福音メッセージ 湖の上を歩かれる主

マルコの福音書 6 章 45 節～52 節 【新改訳改訂第3版】

- 45 それからすぐに、イエスは弟子たちを強いて舟に乗り込ませ、先に向こう岸のベツサイダに行かせ、ご自分は、その間に群衆を解散させておられた。
- 46 それから、群衆に別れ、祈るために、そこを去って山のほうに向かわれた。
- 47 夕方になったころ、舟は湖の真ん中に出ており、イエスだけが陸地におられた。
- 48 イエスは、弟子たちが、向かい風のために漕ぎあぐねているのをご覧になり、夜中の三時ごろ、湖の上を歩いて、彼らに近づいて行かれたが、そのままそばを通り過ぎようとおつもりであった。
- 49 しかし、弟子たちは、イエスが湖の上を歩いておられるのを見て、幽霊だと思い、叫び声をあげた。
- 50 というのは、みなイエスを見ておびえてしまったからである。しかし、イエスはすぐに彼らに話しかけ、「しっかりしなさい。わたしだ。恐れることはない」と言われた。
- 51 そして舟に乗り込まれると、風がやんだ。彼らの心中の驚きは非常なものであった。
- 52 というのは、彼らはまだパンのことから悟るところがなく、その心は堅く閉じていたからである。

湖の上を歩かれる主

マルコの福音書 6:45～52

1. クリスマンになってから

- (1) 神の愛に感激、家族も友人も喜んでくれると思ったのに
- (2) 実際には困難や迫害さえも
- (3) なぜなのか

2. 弟子たちの思いと主の御思い

- (1) やりがいのある働きを突然、やめさせられる
- (2) 暗いガリラヤ湖を対岸に向かって漕ぎ出すが向かい風で難儀する
- (3) 疲労困憊し、万事休すというときに「幽霊」が現れ、恐怖のどん底に



ジョニー・エレクソン
(事故から間もない頃)

- (4) 「成功」「人気」に潜む危険 主は弟子たちを去らせ、ご自分は祈るために山に
 ▶ 安息日の翌朝(1章) ▶ パンの奇跡のあと(6章) ▶ ゲッセマネの園(14章)
- (5) 弟子たちの困難を見られた (夜のガリラヤ湖、湖岸から数キロ離れている)
- (6) 水の上を歩いて行かれた 「そばを通り過ぎようとおつもりであった」 別訳「同伴しようとの…」

3. 本当の奇跡とは

- (1) 人目を引くためにする(=自分に注目を集めるためにする)ものではない
 - ・ 「神殿の頂から飛び降りてみよ」(悪魔の誘惑)
 - ・ 「奇跡を行ってみよ。そうすれば信じてやる」(パリサイ人、律法学者)
 - ・ 「十字架から降りてみよ。そうすれば信じてやる」(")
 - ・ 「ここで行っている奇跡を都でもやってみたら有名になれるのに」(弟子たち)



川の上を歩く

(2) 奇跡は神であることの「しるし」(sign)

- ・ 憐れみの奇跡 : 病人の癒し、ツアラアトの人の癒し、死人の甦り
- ・ 物理的法則を凌駕する奇跡 : 水をぶどう酒に、五つのパンを五千人の群衆に、水上歩行
- ・ 信仰と不可分の奇跡 : 「あなたの信じたとおりになるように」「あなたの信仰があなたを癒したのです」

(3) より偉大な奇跡

- ・ 罪が完全に赦される

イザヤ 1:18 「さあ、来たれ。論じ合おう」と主は仰せられる。「たとい、あなたがたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる。たとい、紅のように赤くても、羊の毛のようになる。」



ペテロの「挑戦」(マタイ 14 章)

- ・ 水の上を歩く経験

II コリント 4:8～9 私たちは、四方八方から苦しめられますが、窮することはありません。途方にくれていますが、行きづまることはありません。迫害されていますが、見捨てられることはありません。倒されますが、滅びません。

マルコ 6 : 51 そして (イエスが) 舟に乗り込まれると、風がやんだ。